

I 感謝の大切さを語る御言葉

1. 「わがたましいよ 主をほめたたえよ。主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。主は あなたのすべての咎を赦し」：2, 3。

①「何一つ忘れるな」。私達は、主が良くして下さった事を忘れやすい。感謝を忘れ、恵みを「当然、当たり前」と思ってしまう。だから、意識的に主の恵みを数えて感謝したい。不平不満は、無意識に出てしまう。しかし、感謝は、意識して、主の恵みを忘れず、数える時に生まれる！  
※感謝の敵＝主の恵みを感謝せず「一つ一つを当然、当たり前」のことと、思ってしまう心。当たり前ではなく、すべては、主の恵み！

②衣食住も感謝。今日の命を感謝。手、足、口、耳、神が造られた体を感謝！※証し

③家族が与えられ感謝。

④霊的な神の家族、教会が与えられ感謝。一人ぼっちのクリスチャンではない。祈り合い、支え合える恵みへの感謝。

⑤落ち着いて礼拝できる礼拝堂、エレベーター、交わりのホールを感謝。車を駐車できる恵み。

※2つの証し。

2. 本日の御言葉で、最初に出て来る恵みは？聖書の順序には意味がある。「主は あなたのすべての咎を赦し」これが最初。なぜ？

①それは、私達の咎、罪の赦しが無ければ、真の救いはないから。

②咎（「外れる」という意味の語から出ている。罪と関連する言葉。咎はその結果として罰を招くもの。罪と同じ意味を示している場合もある）、罪（道を外す、神のみこころからの的外れ）の赦しが無ければ、神との和解がなく、神との命ある関係が回復しない。神との命の関係が無ければ、神との命のパイプが無ければ、私達に、神からの愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制の養分がなく、それらの実もない。しかし、主の十字架と復活と御霊の内住の恵みで、枯れた心、人生に、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制の実が与えられ続ける。ハレルヤ！だから、赦しの恵みが、最初！

3. 「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい」ピリピ4：6, 7。

①偉大で、大きな愛の神は、私達が辛い時、正直に「辛いです。助けて下さい」と祈るのを喜ばれる。正直に「辛いです」と祈りましょう。

②と同時に、「感謝をもってささげる祈りと願い」と言われている。つまり、正直に願い事を祈

って良いが、その試練の中にある神の多くの恵みへの「感謝を忘れるな」の意。これは、詩篇103：2に通じる。※願い事だけの祈りは、祈りの中でも、神ではなく、問題に心の目を向けやすい。しかし、まず、神の恵みを数え、感謝する時、心が神に向く。その時、神の視点で、試練を見ることが出来るようにして下さる。「この試練は、偶然、無意味なものではなく、神のご計画と何かの意味がある」と気づかせて下さる。問題を変える前に、私達の心、捉え方、視点を変えて下さる神。

Ⅱ 私達の心の選択で人生は変わる。二つの選択がある。

1. 人と比べ、自分にないものを数え、不平不満に満たされ、人をねたむ人生を、自分の心で選ぶか？そこには、真の幸せはない。神に喜ばれず、人々も、近づかなくなる。

2. 人と比べないで、神が、自分に与えられているものを、一つ一つ数え、感謝し、その賜物を、神と人の為に用いながら生きる人生を、自分の心で選ぶ。その生き方は、神を喜ばせ、自分の心も喜びが増し、周りの人々に、その喜びが伝わり、主を証しする恵みにつながる。

「金銭を愛する生活をせず、今持っているもの（神が与えられたもの）で満足しなさい。主ご自身が、『わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない。』ヘブル13：5

あなたは、どちらの人生を選択されますか？

どんな中でも、主の恵みを数え、主に感謝し、人にも感謝する人生は、真に幸いな人生です！

※主の恵みを数え、主に感謝し、信仰が回復した方の証し。